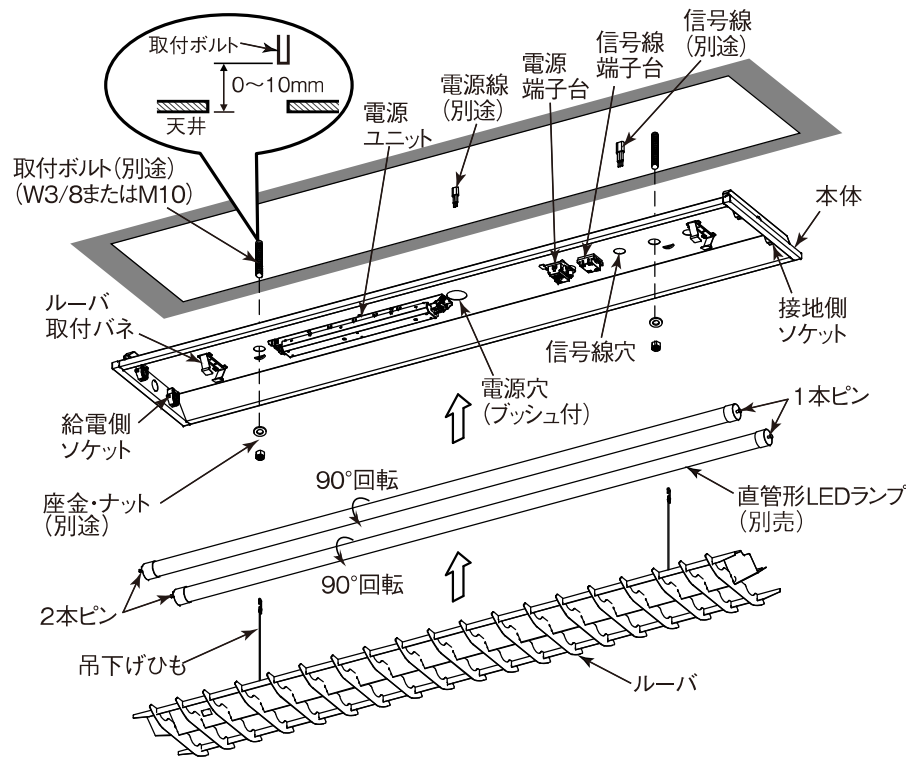


各部のなまえと取付けかた

⚠警告- 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因となります）



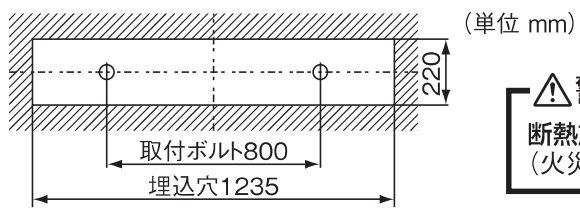
1 取付前の確認

- 器具質量（約 3.7kg）に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

⚠警告- 器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

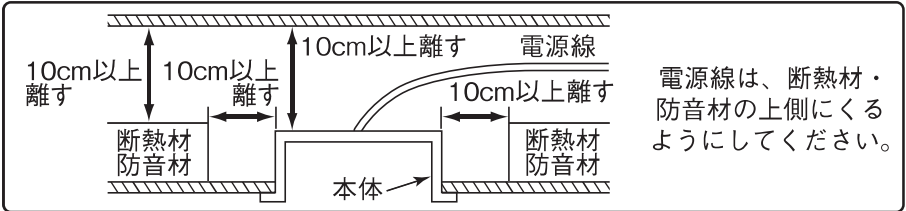
2 天井に埋込穴をあける

- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。



⚠警告- 断熱施工天井に取付けない（火災の原因）

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



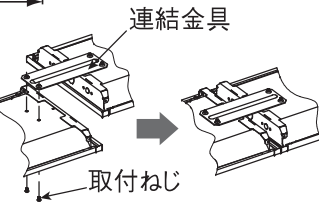
3 連続取付けの場合

<天井切り込み寸法>



<器具単体の連結方法>

本体の片側端部に連結金具（AEE990088 別売）をねじで器具本体の内部より締め付け、器具を順次取付ける。
なお、終端の器具には連結金具は不要です。

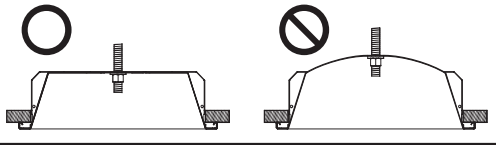


4 器具本体をボルトに取付ける

- (1) 電源線・アース線を本体電源穴から引き込んでおく。
- (2) 連続調光で使用する場合は、付属のコードプッシュを必要な穴にはめ込み、信号線を引き込む。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。ナットの締付トルクは 0.7 ～ 1 N・m です。

⚠警告- 取付けが不完全な場合落下の原因

締付トルクが過ぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。



5-1 電源線を電源端子台に接続する

（初期照度補正形で使用する場合は、5-2 項は不要です）

- (1) アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。

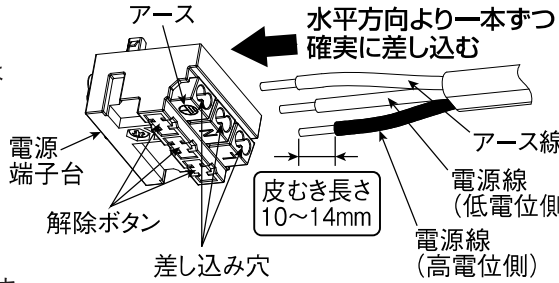
- (2) 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

<D種（第3種）接地工事が必要です。>

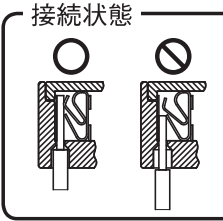
○電源端子台の容量は 20A です

- 適合電線：
φ1.6mmVVF 単線 または
φ2.0mmVVF 単線

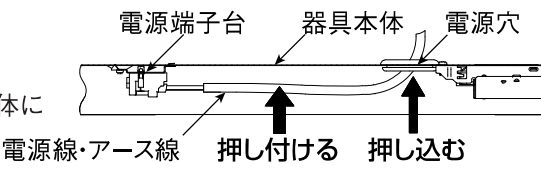
- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーで解除ボタンをまっすぐに押す。



⚠警告- 送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）
・電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにもむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



- (3) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線はルーバとの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、電源線を器具本体に押し付ける。

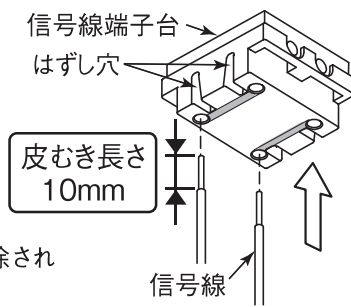


⚠警告- 押し付けが不十分な場合、ルーバとの干渉により電源線が損傷し、感電・火災の原因

5-2 信号線を信号線端子台に接続する

（連続調光で使用する場合は）

- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
適合信号線：
φ0.9mmCPEV-1Pまたはφ1.2mmCPEV-1P
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。



- 調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。

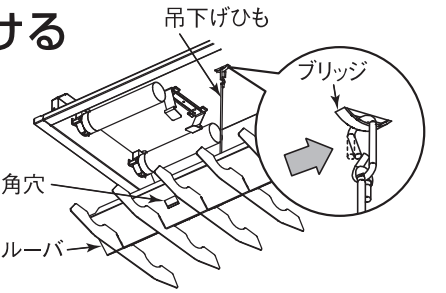
- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

⚠警告- 信号線端子台には電源線を接続しない（過熱・損傷し火災の原因）

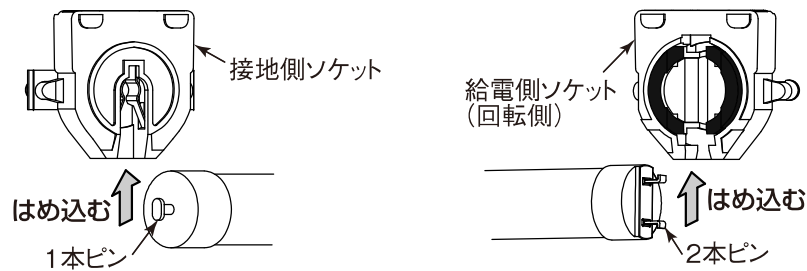
6 ランプを確実に取付ける

- 工場出荷時の光束値はランプ定格光束の約 76% に設定されています。

- (1) ルーバ付属の落下防止用吊下げひもの先端の金具を、本体のブリッジに引っ掛けた後、図のように曲げる。（2ヶ所）

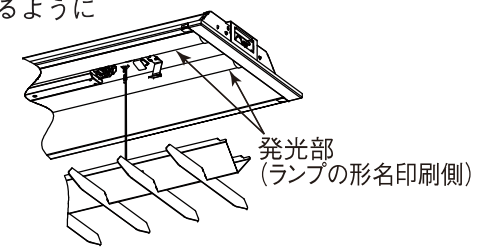


- (2) 接地側（ランプ1本ピン）を取付ける。（3）給電側（ランプ2本ピン）を取付ける。



- (4) ランプの発光部が照射方向となるように 90 度回転させ確実に取付ける。

⚠注意- 取付けが不完全な場合落下の原因



7 ルーバを取付ける

- (1) ルーバを押し上げて、本体のルーバ取付バネに、ルーバの角穴をセットする。
- (2) ルーバ取付後、下に引下げ、確実に取付いていることを確認する。

- ランプ交換をおこなう場合は、取付バネを矢印の方向に押ししてルーバを取外す。

⚠警告- ルーバ取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により感電・火災の原因）

⚠注意- 取付けが不完全な場合落下の原因

